

真善美

2023. 6. 14

野田中学校の校長室には、様々なものが掲げられてある。その中に、ひと際目を引き、存在感のあるものが2つある。ときの文部大臣直筆と思しきものである。片方は読めない。もう片方には、「真善美」とある。これがずっと気になっていた。

県内の学校にお邪魔することがある。正面玄関を入ると、「真善美」が飛び込んでくる学校がある。それも一校や二校ではない。本校を含めて、一時期、流行ったのだろうか。調べてみた。

「真」とは、嘘偽りのないまことのこと。「善」とは、道徳的に正しいこと。「美」とは、美しいさまのこと。これら3つは、人間が理想とすべき基本的な価値概念であり、行動規範だとされている。「真善美」を体現することが人間の理想的なあり方である。人として目指すべき最高の理想的な状態である。

ユニクロ創業者の柳井正氏も、以下のように、この「真善美」の実践を心がけているそうである。

私の生き方のモットーは、正しいことをする、行動しながら修正していくということです。毎日の生活では、「真善美」を実践するように最善を尽くしています。英語では「Truth」「Goodness」「Beauty」と訳されるそれらの価値観を持ち続けることで、人生を信頼できる方法で生きていくことができると信じています。

また、全日本弓道連盟は、この「真善美」を弓道の最高目標と位置付けている。弓道のあの凛として美しい所作の目指すところは、「真善美」の体現というわけである。「真善美」の3つの価値が見事に体現されている状態というのは、水が高い所から低い所へ流れていくかのごとく、無駄がなく、淀みがなく、力みもなく、自然にものごとが流れていく様子がイメージされる。それだけ、自然の理にかなっているということである。

何かに迷ったとき、自分を見失いそうなとき、「真善美」という価値観を思い出すことはきっと役に立つはずである。困難な場面でも、きっと道を踏み外さずに済むはずである。個人でも組織でも、行動規範として常にこれを意識しておくことは大切である。

常に「真善美」を意識して行動していれば、それが自然と体現できるようになっていくのだろう。人生をしなやかに生きている人たちは、本人が意識しているかどうかはわからないが、結果的に、この「真善美」を体現しているのではなかろうか。

こう考えると、学校に掲げられているのも合点がいく。だが、これを生徒に説明できるかという、今の私には難しいように思う。わかったようでわかってはいない。人として、まだまだなのである。まずは、語源である哲学者カントの思想から勉強しようと思う。